



おくや もとむ
奥谷 求
(創志会)

質問した項目

- 本市の新しい価値観創造を目指して
- 農業施策について
- 豊かな人生とともに

東広島市の新しい 価値観創造を目指して

新たな将来ビジョン 第五次総合計画！

質問

第五次東広島市総合計画では、9つの旧町、または10の生活圈域のブロックに分け、土地利用上の将来像を示すため、地域ごとのブロック計画を策定しているが、どのような方向性を示すのか。

答 弁／高垣市長

それぞれの地域資源等の特性を踏まえつつ、市民起点で実現すべき新たな将来像を構築し、地域の皆様に共有していただけるよう、地域ごとのビジョンとして、その方向性をお示ししたい。

農業を取り巻く環境と将来像について！

質問

①西日本豪雨の復旧作業の進捗状況について伺う。

②平成の30年間で、本市の農業就業人口、耕作地面積、農業産出額の推移を伺う。

③暮らしとしての農業、いわゆる小農を活かした施策について伺う。

答 弁／中谷災害復旧担当理事 木原産業部長

①2020年度末まで予定どおり復旧が完了できるように事業を進めていきたい。

②就業人口は1万167人の減、耕作面積は2,520haの減、農業産出額は、米はほぼ全国並みの減少、畜産は全国を上回る減少、果実は全国並みの減少、野菜は全国を上回る増加である。

③小規模であっても一定の収益が見込まれる、暮らしとしての農業の充実とともに、新たな農業にチャレンジできる仕組みづくりなど、活力と魅力を向上させる支援を進めたい。

最後まで本人の意思が 尊重される社会

質問

※アドバンス・ケア・プランニング（ACP）についての普及活動状況と最後まで本人の意思を十分尊重されることのできる方法を包括的に考えることについて見解を問う。

答 弁／梶永健康福祉部長

平成26年度から「東広島地区医師会地域連携室あざれあ」と連携し、住民への普及啓発を図っている。今後は、ACPを地域に根づかせるために、より効果的な方法について、関係機関の意見を聞きながら検討していく。



※【用語解説】アドバンス・ケア・プランニング（ACP） 人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み。愛称は「人生会議」。



おおたに ただゆき
大谷 忠幸
(街おこしをめざす会)

質問した項目

■東広島市の街おこしについて

東広島市の街おこしを 強かに推進する

市内の子供達の就業先
を市内に作る

質 問

本社・工場・研究所が市内
にあって、毎年100人以上の学
卒社員を採用してくれる企業
体を起業するために、産学金
官マッチングを強かに推進す
るイノベーションセンターの
ハード面・ソフト面の構想に
ついて伺う。

答 弁／高垣市長

現在、場づくりによる人材
交流の活性化と新しいアイデ
アの創出を目的とした拠点
を、「※東広島イノベーション
シヨ
ンラボ ミライノ+」と名づ
け、本年11月の開設に向け
て、西条岡町に整備を進めて
いる。分野や世代を超えた多
様な人材の交流を促進するこ
とで、新しい組み合わせによ
り生まれた新しいアイデアか

ら、社会に大きな価値を提供
していくような取り組みが断
続的に生まれるといふ、いわ
ゆる『イノベーション・エコ
システム』の形成を目指す。



東広島イノベーションラボ
ミライノ+開設予定地

東広島市からの人的資
源の流出を防ぐ。

質 問

東広島市で生まれ育った子
どもたちが、一度学びに東京
京都、大阪等々に出て行って
しまつと、帰郷しないケース
が極めて多い。これは人的資
源の流出であり、大問題と考
える。本市は、日本一の教育
市であると自負しておられる

ようだが、何のための日本一
の教育市なのか伺う。

答 弁／津森教育長

子どもたち一人一人が自分
の考えを持ち、優劣の差を乗
り越え、課題解決に向けて本
気で学び合い、新しい学びを
創造するような授業を目指す
必要があり、そのような授業
が、東広島市のどの学校、ど
の教室においても見られる、
それが本市の目指す日本一の
教育の姿の一つであると考え
る。また、地域のために行き
ることは何かを考え、地域を
よくするために頑張ろうとす
る志を持った子どもが育って
いることも、本市の目指す教
育の姿である。このような教
育の実現を目指す中で、これ
からの社会をたくましく生き
る力を持ち、東広島市や日本
を支え、国際的に活躍できる
人材を育成することが、日本
一の教育都市を目指している
理由である。

※【用語解説】東広島イノベーションラボ ミライノ+ 本年11月に開設を予定している産業創出拠点の名称で、読み方は「ミライノ」、「+」の部分は読まないが、この「+」の記号には「未来の〇〇」という、「未来へと繋がっていく」という意味合いがある。



谷 晴美 (日本共産党)

質問した項目

- 将来に希望がもてる社会について
- 医療の充実について
- 保育の充実について

国民が将来に希望がもてる社会の政策提案

日本共産党の希望がもてる3つの提案！

質 問

日本共産党が提言する希望がもてる社会として、「8時間働けば普通の生活がおくれる社会」、「お金の心配なく学び、子育てができる社会」、「社会の保障の充実で、安心してくらせる社会」の3つの提案について、本市の考えを問う。

答 弁／高垣市長

提案すべき内容ごとに本市としての主要事業提案とすべきか、全国的な課題として組織的に行う提案活動を活用すべきかを見きわめつつ、適宜、国に対して働きかけをしたいと考えている。

子ども・障がい者・難病の医療充実を

質 問

はり・きゅうの助成券、プール等の運動施設を利用する際の助成券発行の復活を求めるが考えを問う。

答 弁／梶永健康福祉部長

助成券の交付は、一部の利用者者に偏重している状況であり、当該助成事業は本県における標準的な保健事業として採択をされていない。こうした中、今年度から市民の健康寿命の延伸を目指し、健康づくり、介護予防活動などを推進するため、元氣輝きポイント制度を創設する。今後は、この制度を推進するとともに、他市の先進的な事例を参考にしながら、より効果的・効率的な保健事業に取り組む。

常勤職員を確保し、保育の質量ともに充実を

質 問

いきいきこどもクラブの今後の待機児童の解消はいづころになるのか、また、いき

きこどもクラブの職員数の基準について、1人配置のクラブにおいては、以前の2人配置に戻すべきだと思いが、考えを問う。

答 弁／上田こども未来部長

今年度予定している施設整備や民間活力の活用等により、令和2年度以降の待機児童ゼロを目指しているところである。現在、常勤指導員が1人体制となるクラブにあっては、必ず代替指導員を追加配置し、安全確保を図ることとしているが、今後は全てのクラブで常勤指導員2人体制が実現されるよう、早期確保に努める。



川上第1・第3 いきいきこどもクラブ



だいどう ひろお
大道 博夫
(創志会)

質問した項目

- 安心安全なまちづくり
- 人と動物の共生する社会の実現について
- 情報通信技術（ICT）の活用について

安全安心で
暮らしやすいまちづくり

災害時の
避難所について

質問

今までに開設されたことがない小学校や中学校での避難所開設に当たっては開設手順マニュアルや地域との連携が必要と思うが、どのように考えているのか。

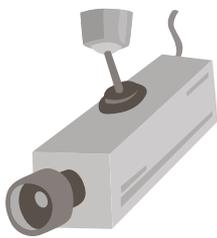
答 弁／倉本総務部長

大規模災害時において、円

住民自治協議会や個人が防犯カメラを設置する場合、ガイドラインや費用支援をどのように考えているのか。

答 弁／倉本総務部長

住民自治協議会等から設置について相談があった際には、ガイドラインに沿った説明を行うとともに、設置位置や設置方向など、より詳細な条件について警察に相談していただくようお願いしている。先進市の事例や警察の意見等を踏まえ、防犯カメラ設置の支援制度について検討していく。



防犯カメラの設置
について

質問

滑に避難所の開設・運営を行うために、地域との連絡体制や開設・運営に係るマニュアルなどを整備し、住民自治協議会や自主防災組織等と協議を行いながら検討を進めたい。また、毛布や段ボールベッド、マットなどの備蓄を進めている。

動物愛護の取組状況に
ついて

質問

他市では動物愛護の条例を作られたり地域猫活動を行われたりして積極的に人と動物の調和のとれた共生社会の実現に取り組みされているが、本市の状況を伺う。

答 弁／天神山生活環境部長

本市としても、犬猫などの愛護動物の正しい飼い方の理解を促進するため、動物愛護団体と連携し、犬猫譲渡会や動物愛護啓発展示の開催や、広報紙、FMラジオ、ホームページなどを活用した啓発活動を実施している。今後も広島県や動物愛護団体等と連携し、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に向けて取り組みを進めていく。



おかだ いくそう
岡田 育三
(創志会)

質問した項目

- 新たな総合計画策定（地域別計画）と小学校の統合に伴う跡地活用について
- 消防行政について
- 街路整備事業について
- 農業振興について

本当に住みやすい 東広島市であるために!!

第五次東広島市総合計画の策定について伺う

質問

① 現在、新たな総合計画（地域別計画）の策定をされているが、地域の意見や思いを十分に汲み取っているのか。

② 小学校の統合に伴う久芳・竹仁の各小学校の跡地活用について市の考えを伺う。

答 弁 高垣市長 松尾副市長

① 総合計画策定については、今後も幅広く地域の皆様の意見を伺う機会を設け、身近な計画となるよう作業を進める。

② 小学校の跡地活用については市が主体となり地域の意見を踏まえ、地域の状況に応じて活性化と振興につなげる。

街路整備事業について伺う

質問

県道上寺家下見線及び吉行飯田線では慢性的に交通渋滞が発生しているが、JR山陽本線を挟み西条町の南北を結ぶ吉行泉線及び吉行飯田線における未開通区間整備の進捗状況と今後の計画について伺う。

答 弁 加藤都市部長

吉行泉線については、JR山陽本線南側の用地取得と埋蔵文化財調査等を実施しており、令和4年度末の工事完了後、山陽本線をまたぐ道路区間の整備に入る予定である。吉行飯田線については、7月



吉行泉線の整備予定地

豪雨の影響で遅れてはいるが、令和8年度の工事完了を目指している。

次世代農業推進事業について伺う

質問

少子高齢化による農業後継者・担い手の不足が深刻化している中、本市では次世代のために「※スマート農業普及促進事業」に取り組んでいるが、今後予算も含めどのように進めるのか、市の考えを伺う。

答 弁 木原産業部長

スマート農業について十分に認識がされていないことから、市内先進事例を市内農業者に現地視察してもらうこと等、事例紹介等を行いスマート農業の普及に向けた機運の醸成に繋がっていきたいと考える。また、農業の省力化に効果のある機械の導入等については、その効果を見きわめつつ、支援等を検討していく。

※【用語解説】スマート農業 ロボットやインターネット技術、AI（人工知能）等を活用した次世代型の農業のこと。省力化や生産性の向上等が見込まれる。



うしお ようこ
牛尾 容子
(令和会)

質問した項目

■高齢者施策について

健康寿命を延ばし 安心して暮らすために

カープひろしま百歳体
操の導入について

質問

高齢者が定期的に集い、体を動かせる通いの場合は、男性の参加者が少なく、男性参加者の増加策が課題となっている。広島市が制作した「がんばれ!!カープひろしま百歳体操」を、更なる男性参加者の増加や現在の参加者の意欲向上の目的で導入してはどうか。



がんばれ!!カープひろしま百歳体操

答 弁／梶永健康福祉部長

体操をしながらカープの応援もできる「がんばれ!!カー

プひろしま百歳体操」は、男性のみならず、市民の多くの方々にも一定の効果があると考えられる。今後更なる調査・研究を踏まえ、導入を視野に検討する。

通いの場に参加していない方への支援は?

質問

①介護予防の通いの場に参加していない高齢者の支援をどのように行っていくのか。
②医師、療法士など多職種との連携を強化し、関係者や関係機関が横断的に連携して対応していくためには、定期的な会議を開催する必要があるのではないかと考えるが、市の所見を問う。

答 弁／高垣市長

①高齢者の身近な場所に通いの場を設置することが重要と考える。通いの場立ち上げに向け、啓発や支援を行う。また二元気輝きポイント制度

の開始、関係機関・地域と連携し、当事者のニーズに沿った支援を提供する。②高齢者の自立支援に向け、個別課題の解決を図ることを目的とした自立支援応援会議等、複数の会議・研修会を実施している。これら既存の会議を活用し、市と多職種によるネットワークを強化し、高齢者への支援の充実に努める。

認知症条例を制定する計画はあるのか?

質問

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、神戸市や御坊市等で制定された認知症条例を東広島市でも制定する予定があるか?

答 弁／梶永健康福祉部長

現時点では認知症条例制定の計画は無いが、先進地の事例を参考にしながら、本市における条例制定の必要性について、研究していく。



いしはら けんじ
石原 賢治
(市民クラブ)

質問した項目

- 農福連携について
- 障がい者雇用について

障がい者雇用で 地域共生社会の実現を

農福連携を強力に
進めていくためには

質問

政府は農福連携を推進する体制を整え、取り組みを本格化させている。農福連携には様々な課題があるが、どのように解決していこうと考えているのか。また、農福連携を推進していくため、検討委員会等を設置し、推進計画を策定し、取り組みを進めてはど

うかと考えるが、いかがか。

答 弁／多田副市長

農と福の両方を把握し、調整することが必要であると考え、市が集落法人の需要を把握し、事業所へ情報提供を行い、協議の場を設けることでマッチングに取り組んでいる。検討委員会等の設置や推進計画の策定について、必要性は認識しているが、まずは成功事例を積み重ね、農福連携

の機運醸成を進めていくことが重要と考えている。第3次東広島市農業振興基本計画の中に施策のひとつとして掲げ、進めていく。

法の趣旨を踏まえた 障がい者採用を

質問

本市における職員採用試験の応募資格と、障がい者の対象はどのようにするのか。

答 弁／高垣市長

介護者なしに一般事務職として職務の遂行が可能という要件を付すことなく、身体障がい者手帳、療育手帳及び精

神保健福祉手帳等の交付を受けている者すべてを対象とする方向で検討している。

障がいがある職員が 働きやすい職場に

質問

職場に定着して頂くために、事情に応じた柔軟な働き方、職場を挙げたサポート、慣れるための時間の確保など、相談ができ対応してくれる態勢づくりが必要と考えるが、どのように対応するのか。

答 弁／倉本総務部長

本人の意向を確認し、外部の支援機関のサポートを受けつつ、業務量や作業の流れ等を調整することなども行っていく。また、時間配分など弾力的に設定する等の対応を検討する必要がある。相談窓口としては、所属長が重要な役割を担うことになる。また、専門の相談窓口を活用することも想定される。





かげ やま ひろし
景山 浩

(市民クラブ)

質問した項目

- 暮らしづくり：公共交通の施策について
- 活力づくり：道路等インフラの整備について
- 災害関連施策について

住みたいまちづくりへの
各施策について

公共交通充実に向けた
取り組みについて

質問

①のんバスの利用促進、②交通結節点整備、③公共交通空白地域解消に向けての各取り組み、④域内移動にかかる料金設定、⑤高校生通学定期助成制度の創設について問う。

答 弁

高垣市長
西村政策企画部長



のんバス

①沿線の住民の意見を伺いながら事業者と協議する。②生活拠点としての機能を持たせる整備を行い、居住誘導に

もつなげる。③*ドアツードアの*デマンド交通の導入に向けた実証実験に着手し、事業者や地域住民と協議を進めており、この成果を広げていく。④⑤交通政策の視点から総合的な対策を進める。

生活上安全な交通環境
の整備について

質問

①通学路の安全確保、②交差点の立体化、③歩行者・自転車レーンの完全分離、④JR線をまたぐ生活道路の利便性向上について問う。

答 弁／先灘建設部長

①市の交通安全プログラムに基づいて安全対策を進めている。②危険性の著しい交差点において、経済的な効果も加味して検討する。③総合的な交通体系の中で検討する。④同規模の自治体の事例を調査し関係機関と調整を行いながら対策を検討する。

災害発生時の対策について

質問

公園等の公共施設を改良し避難所としての機能を付加(多機能公園化)することにについて問う。障がいのある方、高齢者、妊娠中の方等の避難所を設けることについて問う。

答 弁／倉本総務部長

現在、東広島運動公園などを広域、地域の避難所と指定している。本市は229施設を避難所としているが、すべてを市が開設、運営することは難しい。指定していない施設も含めて、開設には地域の方の協力が必要である。配慮が必要な方については、まずは一般の避難所へ避難していただき、対応が難しいと判断したら、福祉避難所として協定している社会福祉施設に移動していただく。

※【用語解説】 ドアツードア 文字通りドアからドアまでということで、家の戸口まで配達されるあるいは到着するといった利便性を意味することば。
デマンド交通 利用者の求めに応じて一定の範囲で経路を変更できる公共交通。



なかがわ おさむ
中川 修
(市民クラブ)

質問した項目

- 一般家庭ごみ排出削減について
- 豪雨災害の検証と今後について

一般家庭ごみ排出削減と 災害の検証について

平成30年度のごみ
排出量はいくらか？

質 問

ごみ処理費用の一部負担が
スタートして1年が経過した
が平成30年度の実績について
問う。

答 弁／天神山生活環境部長

平成30年度は、7月豪雨災
害により大量に発生した災害
ごみを含んでおり、その検証

答 弁／天神山生活環境部長

還元事業の主なものは、ご
み指定袋交付事業、ごみス
テーション収集用ボックス等
整備補助事業、ふれあい収集
事業、剪定枝資源化支援事業、
ごみ処理容器等購入費補助事
業、資源回収推進団体報償金
交付事業などを実施しており、
これらの還元事業の事業費に
ついては、約5,500万円
となっている。

豪雨災害の検証と
今後について

質 問

ハザードマップの見直しを
行っているが、今後どのよう
に展開していくのかを問う。

答 弁／高垣市長

令和2年度に見直しを予定
している。この見直しでは、
現在のハザードマップ作成後
に新たに指定された土砂災害
警戒区域や、千年に一度の確

率で発生する想定浸水最大規
模降雨による洪水浸水想定区
域を反映するとともに、平成
30年7月豪雨等、過去に大規
模な災害が発生した箇所の掲
載を検討している。また、お
住まいの地域の危険箇所を把
握していただくために、住民
の方に実際に地域を歩いてい
ただき、各地域独自の防災
マップ作成を支援する、「防
災まち歩き交付金」を整備し
た。市民の防災意識を高め、
的確な避難行動につながる取
り組みを進めていく。



東広島市ハザードマップ



みやかわ やすこ
宮川 誠子
(真政倶楽部)

質問した項目
■第五次東広島市総合計画について

第五次東広島市総合計画 ―市の将来像を問う

都市部・山間部・沿岸部の施策の方向性は？

質問

市は今年度中に第五次総合計画を策定するとしている。この間、都市部と山間部、沿岸部では環境や特性が違つのに市内一律の施策となつていが、五次計画では、それぞれ異なる活性化策が検討されると期待している。方向性を問う。

答 弁／高垣市長

都市部では、知的資源活用による※イノベーションの創出や若者世代を引きつけるまちづくり。山間部では、創業・起業を視野に入れた移住・定住対策の推進や、観光・交流施策農業の活性化など。沿岸部では特色である海を活用した施策も必要と考えている。職員の政策立案能力を育てる方策は？

質問

職員の政策立案力には課題がある。本市には大学や研究機関が多く立地しており、これらと職員が協力して政策研究を行うことで職員の政策立案能力を育てる自治体※シンクタンクを活用してはどうか。

答 弁／松尾副市長

自治体シンクタンクの取り組みは、非常に参考になる点が多い。本市の強みである大学等との連携を強化し、職員の政策立案能力の開発と、今後の政策形成につなげたい。

安芸津地域の街づくり計画の方向性は？

質問

安芸津は気候温暖で風光明媚な地域であり、保野山から三津湾を望む景色や珍しい地形がもたらす赤崎の景観は絶景である。そして、豊富な食材や広島杜氏の酒造り、賀茂

大地のコメを一気に引き受けて三津港から運んだ物流拠点という歴史など特異な地域特性を持っている。活性化の方向性を問う。

答 弁／西村政策企画部長

地域別計画の中で、恵まれた景観資源や特色ある農水産物を活用した観光・交流、町の拠点である三津地区の生活支援機能の充実、駅と港が近接する立地環境を生かした賑わい創出などについて検討を進める。また、地域特性を生かしたオフィス機能の充実を含め、イノベーションの創出につながる施策を推進する。



安芸津町赤崎の風景

※【用語解説】 イノベーション 刷新。革新。新機軸。
シンクタンク さまざまの領域の専門家を集めて政策や企業戦略の策定・提言を行う調査研究組織。頭脳集団。



さかもと ゆりこ
坂元 百合子
(公明党)

質問した項目

- LINEを活用した情報発信および子育て支援について
- 建設中の(仮称)「道の駅西条」について
- 2020年に向けた文化プログラムの推進について

建設中の(仮称) 「道の駅西条」について

防災拠点の機能を有しているかを問う

質問

大規模災害などに備え、道の駅に防災機能を高める取り組みが広がっている。国土交通省では高い防災機能がある道の駅に対して、重点的に社会資本整備総合交付金を配分している。建設中の(仮称)道の駅西条は防災拠点の機能を有しているか。



(仮称) 道の駅西条イメージ

答 弁 / 高垣市長

(仮称) 道の駅西条には、市外・県外からの応援機関連の集結・駐留や災害支援物資の受け入れなどの結節機能の一

役を担う防災拠点としての機能を有している。

LINEを活用した子育て支援について

質問

子育て支援においてLINEやSNSを活用した相談対応が有効と考える。文科省の制度で行われている相談のしくみや体制は子育て支援においてLINE等の導入を検討する際に大いに参考になる。本市としても導入が必要と考えるが見解を伺う。

答 弁 / 上田こども未来部長

産前産後や子育て時期に、外出が困難な場合や、電話相談に馴染みのない方が気軽に相談ができ、不安が解消できるLINEなどの活用はリスクの早期発見に有効である。県と連携し、活用のメリット、デメリットを整理し、広域的な取り組みも含め、本市にふさわしい仕組みを検討する。

2020東京五輪文化プログラムを問う

質問

2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、各種団体が行う文化芸術イベントである文化プログラムは、五輪憲章では、「スポーツと文化と教育を融合させる」と明記され五輪と文化活動のつながりは深い。本市の文化振興の取り組みについて伺う。

答 弁 / 國廣生涯学習部長

文化芸術の魅力発信は、市の文化芸術振興のコンセプトにも掲げており、芸術文化ホールくららを中心に、国内外の優れた文化や芸術のイベントを開催し、新美術館の開館後には相互連携を図りながら、文化・芸術交流ゾーンとしての魅力を高める環境づくりに取り組む。

※ [用語解説] LINE スマートフォンなどで短い文章のやり取りや音声通話ができるソフトウェア SNS ソーシャルネットワークサービス。インターネットを利用した人と人のコミュニケーションを図るサービス。



しげもり かよこ
重森 佳代子
(清新の会)

質問した項目

- 高齢者の福祉行政について
- 危機管理について

敬老事業は現状のまま
継続すべきか

質問

①敬老会出席率が10数%と低いところもある現状の中で、

助成金は一人当たり2,600円で算定されている。

対象者が多い地域は地域の裁量に任せられる金額が大きく、対象者が少ない地域は予算のやりくりが厳しい所もある。一人当たりと単純に規定した助成の在り方に問題はなにか。

②パラマキヤ人気取りにも見える祝金等の贈呈を見直し、見守りなど高齢者全体の福祉の充実を図るべきではないか。

答 弁 高垣市長
梶永健康福祉部長

①助成金については、各地域の裁量に任せ、一人当たりの単価で算定した額を上限としていく。

とっていく。



ドクターヘリや消防活動に利用される豊栄飛行場

②敬老事業は高齢者の長寿を祝い、広く市民の関心を集め、老人福祉の向上を図るため行っている事業であるが、議員ご指摘の見守りも大きな課題であり、今後検討していく。

豊栄飛行場の緊急時の役割について

質問

豊栄飛行場は市民の生命、財産を守るため、緊急時に利用されている。インターネット回線の延伸ができるか問う。

答 弁 石丸消防局長

当飛行場は有事の際有用な施設ではあるが、回線工事の延伸は難しいと考えている。

敬老事業において
不公平感をなくすべき

年齢に達しても祝金が
もらえないのは？

質問

敬老祝金・祝品贈呈は9月1日が基準日のため、誕生日が1月1日から8月31日までの対象者が、9月1日までに死亡した場合、祝い年齢の77歳・90歳・100歳以上になっていても、祝金等は贈呈されず、一方9月1日から12月31日までが誕生日の人は、その年齢

(満年齢)に達していないのに贈呈されるのは、甚だ不公平ではないか問う。

答 弁 梶永健康福祉部長

基準日については、国等の定めはないが、「老人の日」がある9月の初日としている。対象年齢は満年齢ではなく、数え年で計算しているのので、数え年での年齢未到達者はいない。9月1日に存命の方に贈呈している。



いわさき かずひと
岩崎 和仁
(創生会)

質問した項目

- 災害に強いまちづくり
- 福祉行政について

災害に強いまちづくり 及び福祉行政について

災害からの早期復旧を
求める

質問

平成30年7月豪雨災害復旧・復興プランのインフラ再生について現在のペースで発注作業を進めていたのでは、決して計画通りに進んでいるとは言い難いが市としての見解を伺う。

答 弁／中谷災害復旧担当理事



平成30年7月豪雨での土砂災害

被災規模の大きい地域においては発注ペースを上げていく必要がある。災害規模の大きさ、施業者の手持ち工事

の工期及び施工可能規模等を考慮しながら対応を行うとともに、様々な手法や制度を活用しながら、入札不調等に対応し、一日も早く復旧工事が進むよう努める。

生き方ノートは自助・互助に必要！

質問

元気なうちに取り組んでいくことや取り組みたいこと、地域とのつながりをどのようになりたいかなど、住み慣れた地域で自分らしく生きることがノートに記載してもらったことで自助・互助の取り組みの一助になると考えるが、市としての考えを伺う。

答 弁／多田副市長

「生き方」を主眼に置いたノートに内容を改訂し普及啓発を図ることは、本市が進める「地域の支え合いづくり」に有効である。本年度は、既にエンディングノートを作成

しているが、来年度は作成にあたり、一人ひとりが生き方をつづる内容となるよう、ノートの名称を含め検討する。

元気輝きポイント制度について

質問

サロンやスポーツなど様々な活動を通して健康寿命の延伸を図ることで、その活動と健康寿命との互換性を探る必要がある。本制度の対象は、限定的な活動になっているが市としての考えを伺う。

答 弁／高垣市長

地域のボランティア活動、介護予防活動、市内6カ所の運動施設を選定している。日常生活圏域別に参加者数や取り組み状況について、介護保険の認定率等の変化と比較してみるなど検証方法も研究していく。また健康寿命の延伸に効果的な活動やメニューを検証し、制度の充実に努める。